

ハクビシン捕ったぞー

第7班 百山秀行

私の会社は西調布駅から歩いて15分程。西は調布飛行場や味の素スタジアム、北に国立天文台、東には深大寺が有る緑豊かな所です。日々忙しいながらも穏かで平和な倉庫から「ヒューッ」と日暮里さんの叫び声が響き、田端さんと一緒に駆け付けました。見ると木材シートの上が動物のフンだらけでした。

猫が来てトイレにしていると思って、猫の嫌いな柑橘系の香りがする粉末を倉庫に散布したのが間違いの始まりでした。

2週間ほどして「ヒューッ」と倉庫からまたまた日暮里さんの悲鳴が響き、田端さんと駆けつくとフォークリフトの爪の上に狸らしい動物が昼寝をしていて、悲鳴に驚いて逃げて行ったとのことでした。この頃糞の量も増え続けていて不思議に思っていたところだったので、3人で頭を突き合わせ、良く糞を観察すると夏ミカンの種が有り、糞に猫特有の臭いがしないことに気が付きました。では何の動物だろうと日暮里さんと田端さんと私3人で会議を開き、狸だろうと結論付けました。

2週間後田端さんが「足跡があるよ」と言うので、インターネット検索をするとハクビシンの足跡に似ていました。悪名高いハクビシンなら取ってみようと思われ日暮里さんと田端さんと私の意見が一致し、ハクビシン捕獲作戦を開始することに決定しました。

お客さんの上野さんに「市町村によっては補助金が出るらしいよ、動物を捕まえる箱罠も貸してくれるらしいよ」とありがたい話を頂いたので、東京都の環境課に電話しましたが「調布市に聞いておくれ」と言うので、調布市に聞きましたところ「補助金はやっていない。罠も貸していない」とのつれない返事を貰い、そのうえ「猟期意外に動物を捕っちゃダメ、免許が無いと捕っちゃダメ、でも私有地なら捕獲は良いけど猫以外は勝手にどこかに持って行って放してはダメ、アライグマに関しては生きたまま私有地から放したら犯罪ですよ。」と厳しいご指摘を頂き日暮里さんと田端さんと私でまたまた3人で会議を開き、田端さんの「駆除業者に頼めば良いんだよ」とい



う意見を採用し、駆除業者をネット検索。近くにハンターハンターという駆除業者を発見。電話すると見積りは15万円から20万円とっても高額で「ビエーッ」と叫びながらも業者と交渉開始、倉庫なので糞の処理、消毒、穴の開いたか所の補修は私達でやるから安くしてと交渉すると箱罠レンタル25,000円/月と格安に成ったので、喜んでハクビシン捕獲を依頼する。でも後で豊洲のビバホームで箱罠が売っていたので値段を見たら税込み10,208円で販売されていた。材木屋には考えられない駆除業者の利幅に驚かされるが自分たちで駆除する方法は無いので仕方ないとあきらめました。次の日箱罠を設置。餌はハクビシンとアライグマが喜ぶ葡萄とバナナを罠の中に置いた。なんと翌日箱罠を見に行くと、黒い動物が罠の中で動いているのを発見。「ビエーッ」と叫び声をあげてしまい、その声に驚いた田端さんと日暮里さんも駆けつけて3人で箱罠の中をよく見ると鼻筋に白い線が有ってハクビシンと確認する。ハンターハンターに電話して来てもらう。「ハクビシンですね。では駆除しましょう。殺し賃は22,000円+消費税2,200円合計24,200円です」とまたまた高額だが仕方ありません、お願いすることとしました。「電気ショックで気絶させて頸動脈を切って殺します。血抜きしますのでバケツを貸してください。ハラワタを抜いて帰ります。鮮度が落ちるといけないので氷を買ってきます。」と言ってハンターハンターはコンビニに走って行きました。はて？ なんだあいつ・・・ と考えました。もしや食べるのか とホームズの如き推理をし、コンビニから帰ってきたハンターハンターを問いただすと「野生動物の中でアナグマの次に美味しいのがハクビシンです。ハクビシンの主食は果物なのでお肉は甘く獣の臭いがなくて、とても美味しいんです」と嬉しそうに話すのを聞いて、「そんなに美味しいお肉が食べられるなら、安くしてよ」とお願いするとしぶしぶ「では15,000円+消費税1,500円合計16,500円」という金額におまけしてもらいましたが当然だろうと心の中で呟きました。

手際よくハンターハンターはハクビシンを始末して肉をもって嬉しそうに帰って行きました。まだいるかもしれないので箱罠にまた葡萄とバナナを入れて同じ所に置いて毎日チェックしていましたが、3日後また箱罠に入っている2匹目のハクビシンを発見し又ハンターハンターに電話して処置して



もらいました。また箱罾を設置し1週間後3匹目のハクビシンがかかっていました。今度のハクビシンは少し体が小さく、心なしか震えているようで、日暮里さんと田端さんと私で様子を観察していますと何となくかわいらしい顔に見えてきて可哀そうになってきましたが、3人で話し合い放す訳にもいかないのです、ハンターハンターを呼びいつものように処理してもらい、ハンターハンターが嬉しそうに氷詰めのお肉を持って帰る光景を眺めました。箱罾を借りて1か月、レンタル期間終わりの日にハンターハンターが取りに来てハクビシンが罾にかかっているのを見てがっかりして箱罾を回収して帰って行きました。3匹も取りましたし、処理されるハクビシンが可哀そうになって箱罾に果物を入れなかったの
で捕れるわけも無いのです。その後は倉庫にカメラを設置して時々チェックしているとタヌキやアライグマが来ている姿がカメラに写りますが、倉庫内に強力ハバネロ入り動物除け薬を散布しているので倉庫の中が糞場になることも無く、日暮里さんと田端さんと私で忙しいながらも平和に働いております。材木屋の倉庫は野生動物には過ごしやすい環境ですからお困りの同業者もいらっしゃることと思います。駆除費用等の参考にして頂ければと思っております。



狸



アライグマ